

令和3年度「移植医療に関する世論調査」概要

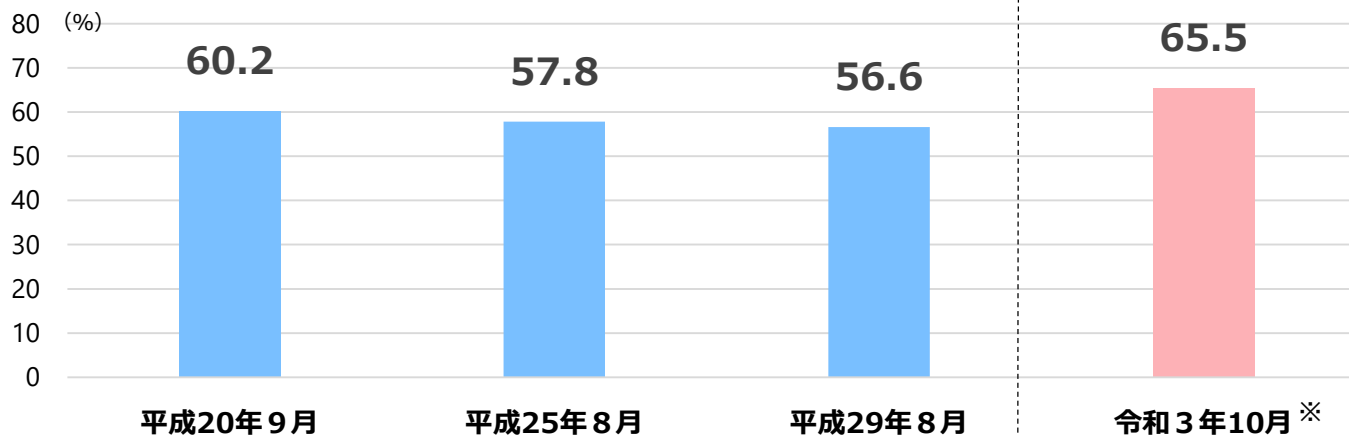
調査対象	全国18歳以上の日本国籍を有する者 3,000人 有効回収数 1,705人（回収率 56.8%）
調査期間	令和3年9月2日～10月10日
調査方法	郵送法
調査目的	移植医療に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする
調査実績	「移植医療に関する世論調査」（平成29年8月） 「臓器移植に関する世論調査」 〔平成10年10月、平成12年5月、平成14年7月、平成16年8月、 平成18年11月、平成20年9月、平成25年8月〕

- ・本調査の概要は内閣府ホームページに掲載（<https://survey.gov-online.go.jp/r03/r03-ishoku/index.html>）
- ・新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、調査員と調査対象の方との接触を回避するため、郵送法で実施した。
- ・平成29年8月調査までは調査員による個別面接聴取法で実施しているため、郵送法で実施した令和3年9月調査との単純比較は行わない。

臓器移植・臓器提供への関心について

関心がある人の割合は6割5分であり、保険証や免許証等の意思表示欄が関心を持った理由として多く挙げられている。

臓器提供に関心がある人の割合



※郵送法により実施。調査員による個別面接聴取法で実施した平成29年調査以前との単純比較は行わない。

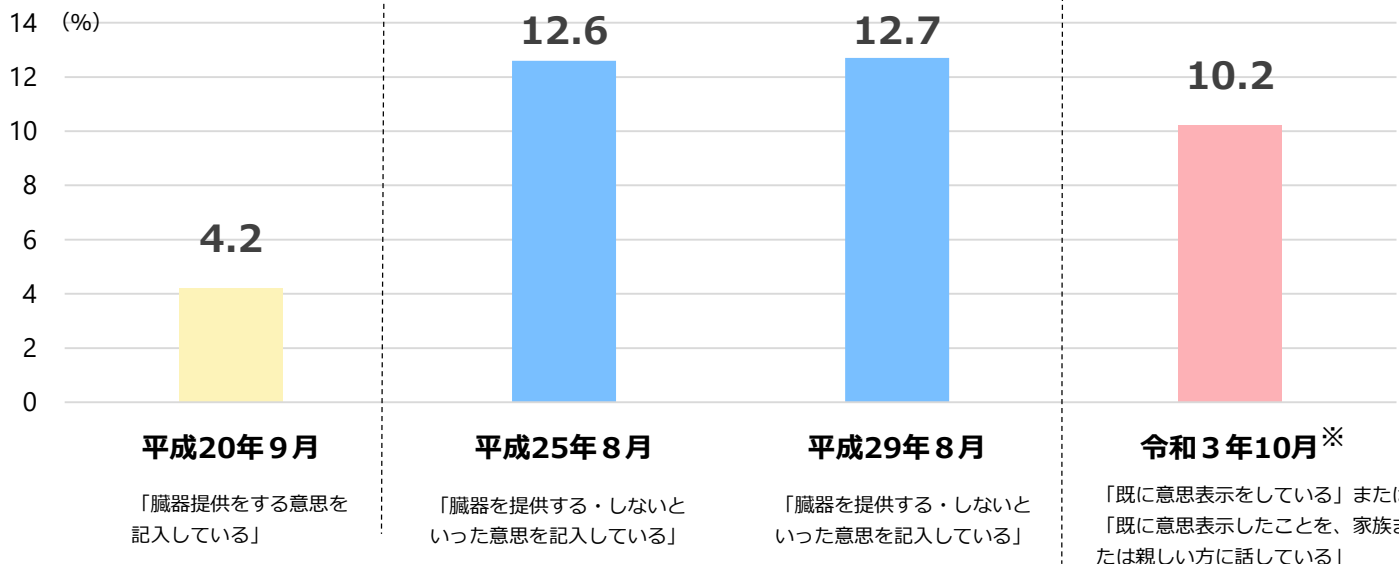
臓器提供に関心を持った主な理由 (複数回答可)

理由	回答率 (%)
保険証や免許証の裏などに意思表示欄があったから	67.2
テレビ・ラジオで話題になっているから	48.9
新聞・雑誌で話題になっているから	24.4
家庭内での会話で話題になったから	13.1
インターネットで話題になっているから	8.2
ポスターやチラシを見たから	6.1

臓器提供に関する意思の記入状況

臓器提供に係る意思表示をしている人は、およそ1割程度で推移。

臓器提供に係る意思表示をしている人の割合



※郵送法により実施。調査員による個別面接聴取法で実施した平成29年調査以前との単純比較は行わない。

臓器提供に関する意思を表示していない主な理由 (複数回答可)

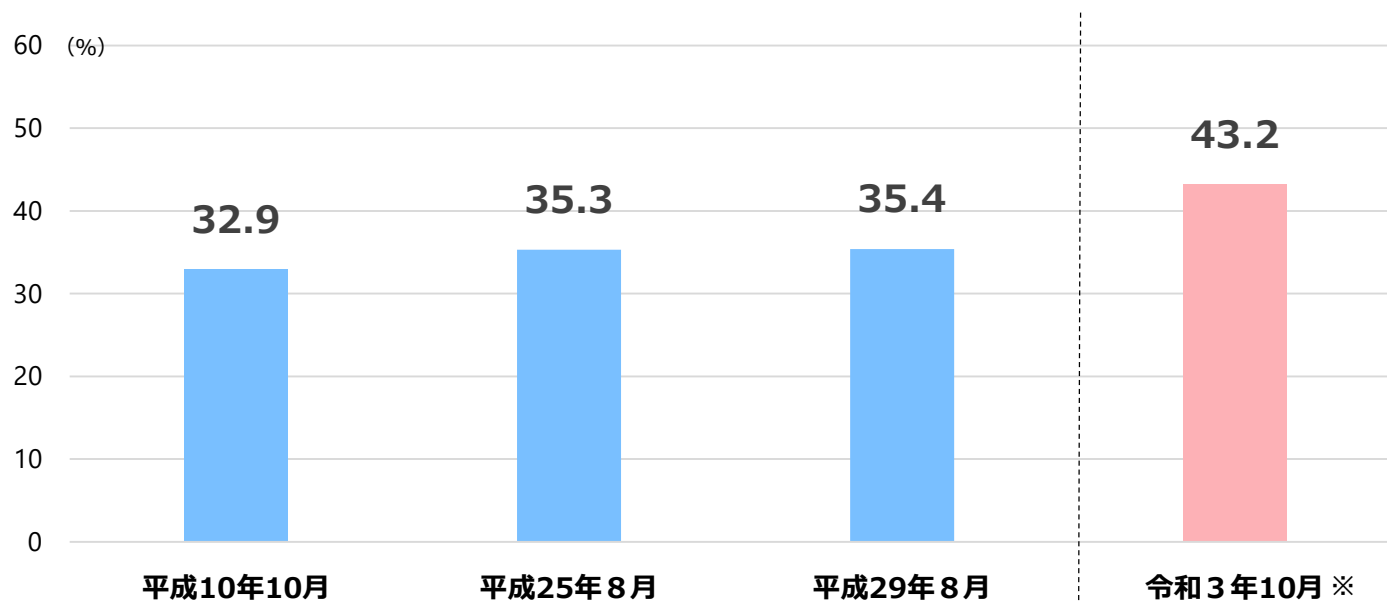
理由	回答率 (%)
臓器提供に不安感があるから	34.3
臓器提供に抵抗感があるから	27.1
自分の意思が決まらないから/ 後で記入しようと思っていたから	22.6
臓器提供するかどうかは 家族に任せたいから	13.4

理由	回答率 (%)
臓器提供には肯定的だが 意思表示はしたくないから	11.8
臓器提供には関心がないから	8.3
臓器提供やその意思表示について よく知らないから/ 記入の仕方がよくわからないから	6.3
拒否の意思を記入したくないから	4.5

臓器提供に関する家族などとの共有

4割を超える方が家族などと臓器提供について話をしている。

家族などと臓器提供について話をしたことがある人の割合



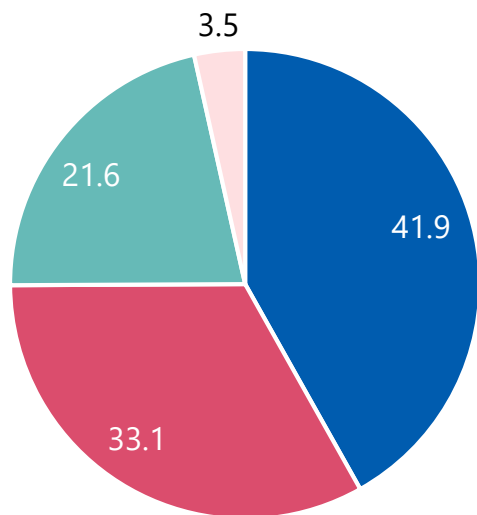
※郵送法により実施。調査員による個別面接聴取法で実施した平成29年調査以前との単純比較は行わない。

脳死下または心停止後における臓器提供の意思

提供をしたい方は約4割、提供したくない方は約2割。

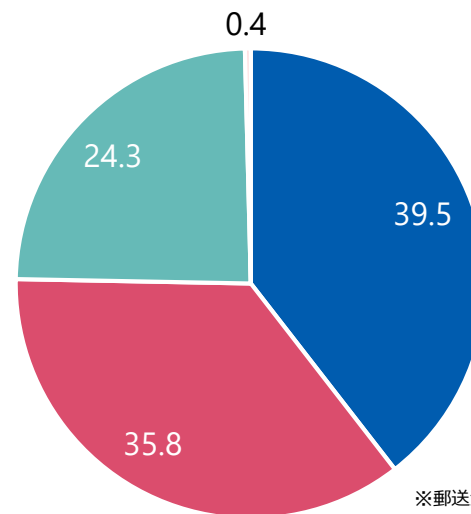
脳死または心停止後に臓器提供をしたい人の割合

平成29年8月



■ 提供したい ■ どちらともいえない
■ 提供したくない ■ わからない

令和3年10月^{*}



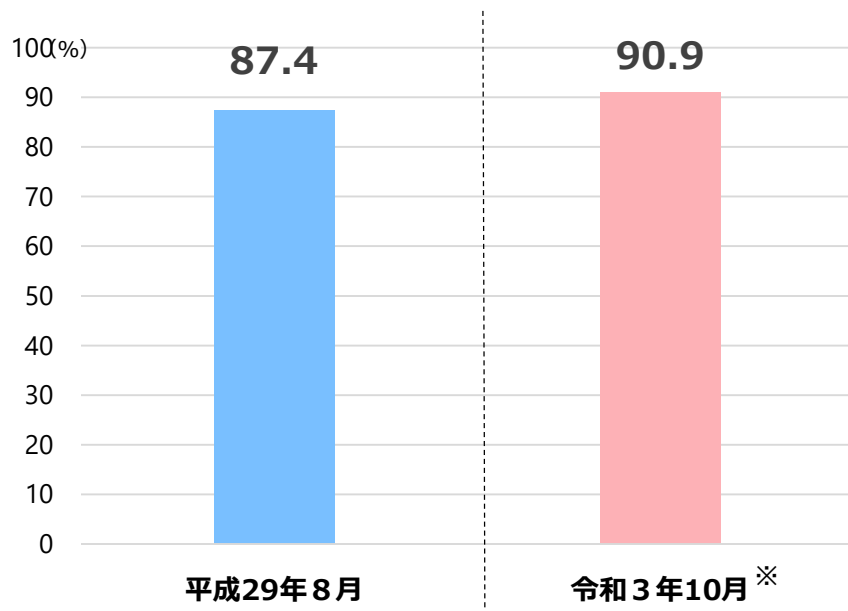
■ 提供したい ■ どちらともいえない
■ 提供したくない ■ 無回答

※郵送法により実施。調査員による個別面接聴取法で実施した平成29年調査以前との単純比較は行わない。

家族の臓器提供意思に関して

本人が意思を表示していた場合は約9割の方が尊重する一方、意思が不明の場合は8割5分の方が臓器提供の決断に負担を感じる。

本人の意思表示を尊重する人の割合



※郵送法により実施。調査員による個別面接聴取法で実施した平成29年調査以前との単純比較は行わない。

本人の意思表示がない場合の臓器提供の決断に対する負担感

(令和3年10月)

